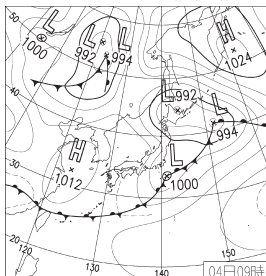


日々の天気図

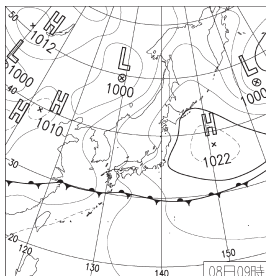
— No. 161

2015年6月

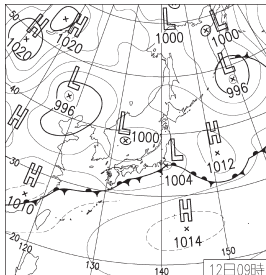
- ・西日本太平洋側は梅雨前線の影響で月間日照時間がかなり少なく、月降水量は多く、九州南部5地点で月降水量6月極値。沖縄は月平均気温高く、5地点で6月極値。
- ・7日、北海道十勝の糠内で最低気温低く-1.2℃を観測。6月極値。
- ・15日、群馬県で突風被害発生。
(気象庁予報部予報課)



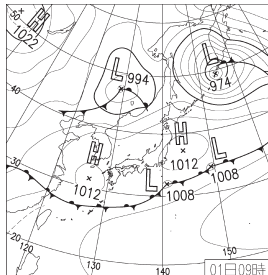
4日(木)西日本は梅雨の中休み
沖縄・奄美は梅雨前線の影響で曇りや雨、西～東日本は高気圧に覆われほぼ晴れ。北日本は北海道付近の低気圧の影響で日本海側では曇りや雨。北海道で震度5弱。



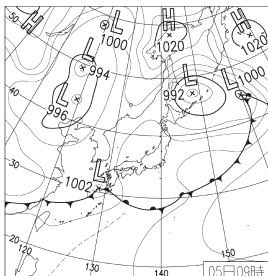
8日(月)東日本梅雨入り発表
梅雨前線の雨雲が西日本から東日本に広がり、鹿児島県各地で激しい雨。北海道も湿った気流の影響で雨。東海、関東甲信は梅雨入り発表。青森県で震度4。



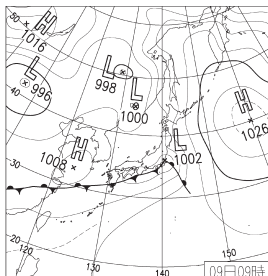
12日(金)九州で黄砂
低気圧に伴う雨雲が東進し九州～東日本に広がり、低気圧通過後、梅雨前線南下し、西日本中心に晴れて暑さ戻り真夏日158地点。福岡、鹿児島、大分など九州各地で黄砂。



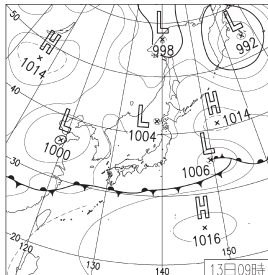
1日(月)沖縄は雨
梅雨前線の影響で沖縄は雨。九州～北海道は高気圧に覆われ、晴れて気温上昇。夏日は全国の約3/4、710地点、真夏日は83地点。沖縄県西表島52 mm/1hの非常に激しい雨。



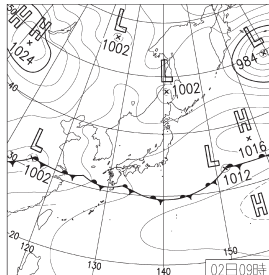
5日(金)西日本から雨域広がる
本州南岸を東進する低気圧の影響で雨雲は西日本では午前中、次第に東日本へ。最高気温は東北の一部を除いて平年より低く、西日本と北海道は各地で平年より10℃以上低い。



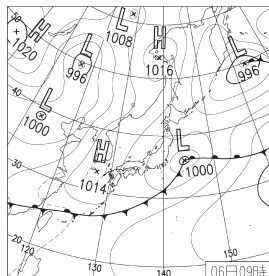
9日(火)全国的に雨
梅雨前線上を低気圧が進み九州から東北まで雨。北海道も気圧の谷の影響で曇りや雨。鹿児島県吉ヶ別府で日降水量172.5 mm、沖縄・奄美は前線の南側で晴れ。栃木県で震度4。



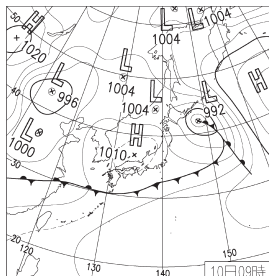
13日(土)黄砂広がる
梅雨前線が活発化し北上、雨雲が西日本に広がる。鹿児島県中之島で67.5 mm/1hの非常に激しい雨。北海道も低気圧の接近により雨。西日本中心に黄砂。



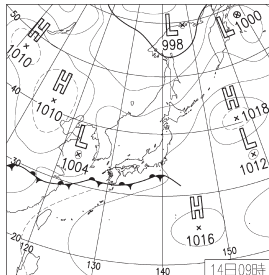
2日(火)九州で梅雨入り発表
梅雨前線が北上し熊本県の甲佐53 mm/1h、八代51.5 mm/1hの雨。九州南部と北部梅雨入り発表。東～北日本の太平洋側を中心に気温上昇し夏日713地点、真夏日99地点。



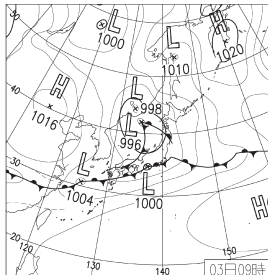
6日(土)全国的に低い気温
梅雨前線停帯で沖縄は雨が続き東日本～東北南部は午前中雨。気温は全国的に平年より低く、北海道では最高気温が4月並の地点多数。沖縄県と那国島と所野で41 mm/1hの雨。



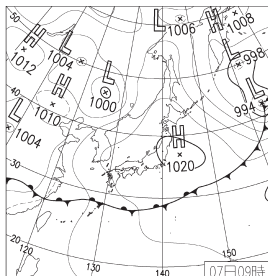
10日(水)九州南部で雨続く
梅雨前線の影響で九州南部を中心に曇りや雨。本州は高気圧に覆われて概ね晴れ。北海道は気圧の谷の影響で曇りや雨。西～東日本の所々で濃霧。沖縄は前線の南側で晴れ。



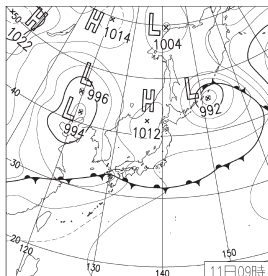
14日(日)梅雨前線、南岸に停帯
南岸に梅雨前線が停帯し九州南部で大雨となり、関東にかけての太平洋側で雨。鹿児島県宝島57.5 mm/1h、北日本は寒気の影響で雨。岩手県区界58.5 mm/1hは6月の1位更新。



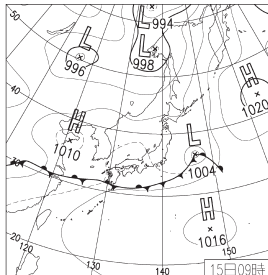
3日(水)九州で大雨
梅雨前線や低気圧の影響により全国的に雨。宮崎県加久藤64 mm/1hなど九州南部で非常に激しい雨。熊本県阿蘇山で最大瞬間風速32.8 m/s。四国、中国、近畿梅雨入り発表。



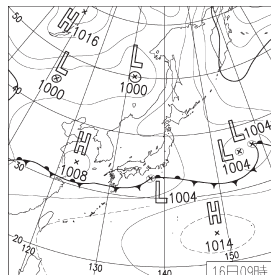
7日(日)前線北上九州南部大雨
梅雨前線北上し九州南部・奄美に雨雲広がる。鹿児島県伊仙など非常に激しい雨。北海道では低温が続く、十勝の糠内の最低気温は平年より8.4℃低い-1.2℃で6月の1位更新。



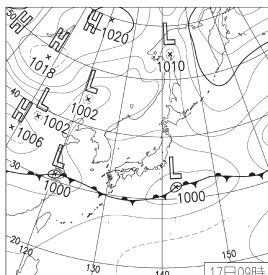
11日(木)九州で大雨
梅雨前線により西～東日本で雨。九州では長崎県雲仙岳73.5 mm/1h、熊本県甲佐68 mm/1hなど非常に激しい雨。長崎県雲仙岳の日降水量6月1位の306.5 mm。沖縄梅雨明け発表。



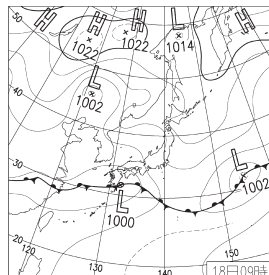
15日(月)群馬県で突風被害
九州南部大雨続く。東～北日本は気温上昇と上空寒気の影響で広い範囲で雷雨。群馬県でダウンバーストによる突風被害。北海道ぬかびら源泉郷58 mm/1hの雨は観測史上1位。



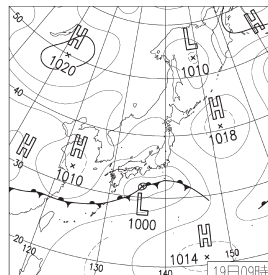
16日(火) 東～北日本で雷雨続く
上空寒気の影響で岩手県紫波で観測史上1位95.5 mm/1hの雨と最大瞬間風速30 m/s、石川県かほく、埼玉県久喜で59.5 mm/1hの雨、西日本は梅雨前線による雨で九州南部は大雨。



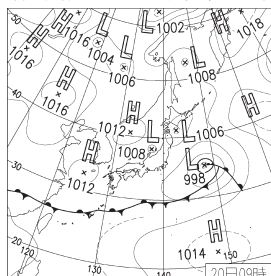
17日(水) 梅雨前線と上空寒気
奄美や九州南部は梅雨前線による大雨、鹿児島県上中64 mm/1h、尾之間57 mm/1h、東日本と東北では上空寒気の影響で大雨、岐阜県萩原55 mm/1h、新潟県高根54 mm/1h、



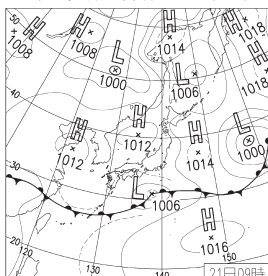
18日(木) 口永良部島再噴火
西日本から東日本は低気圧や梅雨前線に伴う雨雲が広がり九州では激しい雨。北日本の太平洋側も湿った気流により所々で雨や霧、沖縄・奄美は晴れて気温高い。



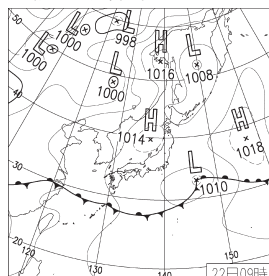
19日(金) 北陸梅雨入り発表
梅雨前線が南岸に停滞し奄美～東北南部で雨、沖縄は晴れ、東北北部と北海道は上空寒気の影響で夜は曇りや雨、鹿児島県沖永良部101 mm/1hの雨は観測史上1位。



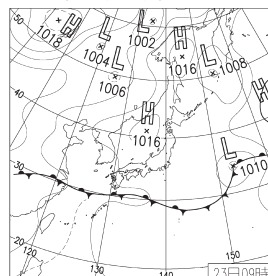
20日(土) 各地で雷雨
梅雨前線が南下し東～北日本を中心に晴れたが、上空に強い寒気入り、午後は西～北日本の山沿いを中心に雷雨。沖縄では前線の影響で大気の状態が不安定となり雷雨。



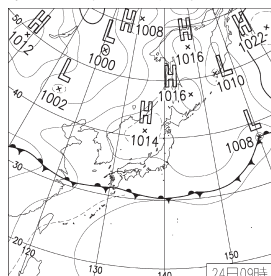
21日(日) 台風第8号発生
上空の強い寒気の影響で中国・四国～東北は午後各地で激しい雷雨。高知県繁藤75 mm/1h、石川県白山河内62.5 mm/1hは観測史上1位。南シナ海で台風第8号が発生。



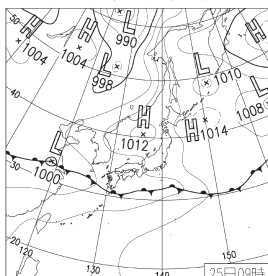
22日(月) 九州南部を中心に雨
梅雨前線により鹿児島県沖永良部で60.5 mm/1hの雨。前線次第に北上し、雨雲が九州から近畿に広がる。東日本～東北は高気圧に覆われ晴れ、沖縄は晴れて真夏並の最高気温。



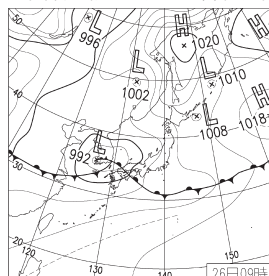
23日(火) 近畿～東北で雷雨
上空寒気の影響で関東中心に雷雨。千葉県佐倉68.5 mm/1hは観測史上1位。茨城県美野里60.5 mm/1h、梅雨前線により鹿児島県名瀬61.5 mm/1h、青森県と東京都小笠原で震度4。



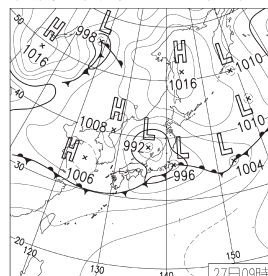
24日(水) 九州南部で大雨
梅雨前線は九州南部付近に停滞し鹿児島県尾之間で日降水量217.5 mm。中国～東北南部は晴れたが上空寒気の影響で山沿いを中心に雷雨、北海道は最高気温低く東部は4月並の所も。



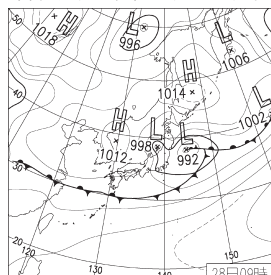
25日(木) 梅雨前線西から北上
東シナ海で梅雨前線北上し西日本は曇りや雨、鹿児島県中種子で観測史上1位の77.5 mm/1hと日降水量329 mmなど鹿児島県各地で大雨。台風第8号は華南で熱帯低気圧に。



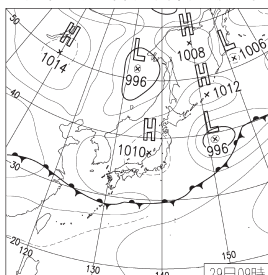
26日(金) 東北南部梅雨入り発表
梅雨前線を低気圧が東進し、九州～東北は広く雨。九州北部～近畿では局地的な強い雨も。東北南部は平年より14日遅く、昭和42年と並んで最も遅い梅雨入り。



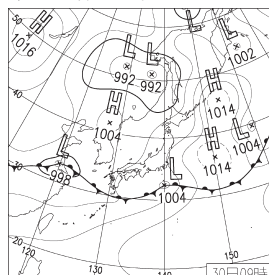
27日(土) 東北北部梅雨入り発表
前線や低気圧の影響で九州～東北の広い範囲で雨、東北北部は平年より13日遅い梅雨入り。沖縄では気温高く、最高気温は鏡原34.3℃。最低気温は石垣島29.7℃など。



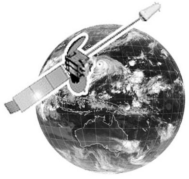
28日(日) 奄美、東北北部大雨
梅雨前線の影響で鹿児島県小宝島54 mm/1hなど奄美で非常に激しい雨。東北は低気圧の影響で北部を中心に雨。岩手県小本では39 mm/1hと6月の1位。



29日(月) 奄美で大雨続く
梅雨前線が停滞した奄美は鹿児島県伊仙で86 mm/1hの猛烈な雨で6月の1位の390 mm/日など大雨。西～北日本は高気圧に覆われ梅雨の晴れ間広がる。沖縄は晴れて高温続く。

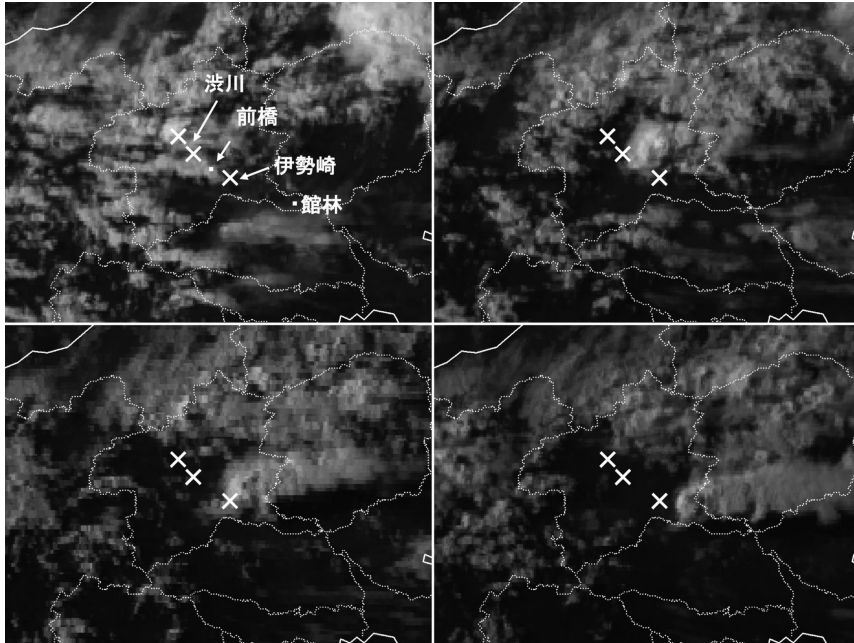


30日(火) 台風第9号発生
梅雨前線が北上し西～北日本は曇りや雨で最高気温は平年より低い所多し。奄美では鹿児島県諏訪之瀬島92 mm/1h、宝島80.5 mm/1hの猛烈な雨。台風第9号が発生。



今月のひまわり画像—2015年6月

群馬県に突風をもたらした積乱雲



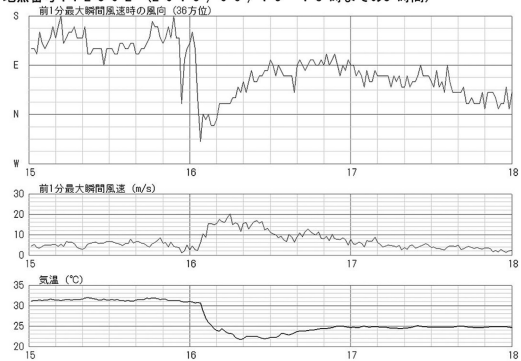
第1図 2015年6月15日15時~17時の関東北部付近における可視画像（×印は突風が観測された地点）。

2015年6月15日、15時~16時半頃（日本時間）にかけて群馬県の数箇所です突風が発生した。第1図は、この時間帯の関東北部付近における可視画像である。発達した積乱雲が渋川市、前橋市、伊勢崎市付近を通過していたことがわかる。

同日、梅雨前線が八丈島の南に停滞し、本州付近は高圧場となっていた（本誌「日々の天気図」参照）。昼前までは関東北部に目立った雲はなかったが、気温の上昇と南よりの海風の流入により、次第に山沿いで対流雲が湧き始めた。前橋や伊勢崎では午後になると最高気温が32°C前後まで上昇し、地上と500 hPaの温度差は約40°Cと大気の状態が非常に不安定となった。これにより、激しい雨やひょうを伴うほどの積乱雲が発達し、南東進した（第1図）。伊勢崎のアメダスでは、16時05分から約15分間に、風向が南よりから北よりに急変し、気温が31°Cから22°Cまで低下するのが観測された（第2図）。16時20分には最大瞬間風速20.2 m/sを観測し、6月としては第2位の記録となった。発達した積乱雲から東側にのびる雲域が通過した館林でも17時10分から約20分間に気温が約5°C低下しており、東西走向の雲域がガストフロントに伴うものである可能性を示唆している。

この突風により、軽自動車が飛ばされ横転したり、

地点番号：42302（2015/06/15 18時までの3時間）



第2図 6月15日15~18時のアメダス伊勢崎の前1分間最大瞬間風速時の風向・風速（上・中）及び気温（下）の時系列図

住宅などに被害が生じたりしたが、竜巻の観測報告はなく、発達した積乱雲から下降気流が激しく噴き出す、ダウンバーストの可能性が高いと考えられる。

（大阪管区気象台気象防災部予報課 河野麻由可）